

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 地域でくらす会	理事長	井上 徹	法人・ 事業所 の特徴	いくのさん家の基本理念「関係性こそ、その人らしさ どう生きたいか、に立ち返る ひとりの支援は、地域を変える」に沿って、住み慣れた自宅や地域での生活が安心して継続出来るよう、地域資源を活用したり、近所の方にも協力していただいたりして、一人ひとりの思いを大切にす支援をするよう心掛けている。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護 いくのさん家	管理者	大坪 真美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	1人	1人	1人	2人	3人	0人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の会議で自己評価を振り返る時間を作り、取り組み状況を確認し職員間で共有していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム会議においては時間を十分に作る事が出来ず動きが不十分であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつまでに行うのか、期間を設けたほうがいいのではないかと。 ・ミーティングのやり方を工夫し、上手くチームの動きを活性化させてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各職員の振り返りはもちろんだが、チーム内の会議を充実させ意識の統一や課題の整理を行い、取り組みを積み重ねていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの方々に周知して頂くために、広報誌を地域や公民館に配布する。 ・実際に関われる機会をつくって行く為に行事案内を行う。 ・委員の方々に現場の状況を把握してもらえようように案内する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の時は、毎回居間の雰囲気を見て頂けるようにご案内した。 ・大きな行事を行なう時は、事前に近隣の皆様に行事案内を配布し参加を呼びかけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何回も足を運んでいるが、居心地よく過ごせていると感じる。 ・玄関をずっと開けっ放しというわけにはいかないでしょうが、声が聞こえてくるとより入りやすい雰囲気になると思う。 ・初めて来る人にはどうしても敷居が高く感じてしまうのではないかと…。 ・広報誌などを、公的機関等に置かしてもらえようようにしてみてもどうか。目に触れる機会をより多くされたらいいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して広報誌を配布し、事業所を知って頂く機会を作る。活動内容だけではなく、今後の行事予定を記載するなど工夫し啓発をしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジカフェ（認知症カフェ）に参加・参画し地域住民の方々への啓発、相談場所としてなれるよう取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度当初から、認知症予防カフェに参加し地域住民の方々との交流の機会を作る事が出来た。1年間に3回担当し、職員も地域を意識するとてもいい機会であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用されている方の支援があるのに、その上地域の相談までとなると大変だと思う。 ・こういう付き合いの積み重ねはとても大切だと思う。今々相談がなくても、日頃のお付き合いがあれば、困った時に相談しようと思えるのではないかと…。 ・事業所の名前は結構知られていると思うが、場所が分からない方も多い。場所の宣伝も必要ではないかと…。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も継続して認知症予防カフェに参加・参画していく。担当職員だけではなく、一人でも多くの職員が参加出来るように取り組む。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者毎の担当職員が中心となり、それぞれの地域行事に参加する。（公民館やご家族からの情報収集） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者毎の地域に向けてアプローチが出来ていなかった。日々の関わりや、事業所を中心とする地域活動に重点を置いてしまった為である。 ・事業所の生活圏域に住んでいる方は、 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活圏域に住んでいる方に対しては出来ていないのではないかと。 ・ご利用者それぞれの地域となるとやはり簡単にはいかないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人の「～したい」を掘り下げ、一つでも多くの地域活動への参加を図る。その為の、情報収集をしっかりと行っていく。

		公民館活動など多くの行事に参加する事が出来た。		
E. 運営推進会議を活かした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所評価の進捗状況を会議で報告する。 ・オレンジカフェ（認知症カフェ）に参加し取り組みを発表する。また地域の課題や困り事などあれば会議で検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間通して、認知症予防カフェの取り組み等報告する事が出来た。カフェに参加する方の中には、介護で困っていると相談を受ける事もあったが、地域の課題や困り事といった内容は事例がなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員の方々はたくさん情報を持っているので、その方達と関係性を深めて行く事が地域課題や困り事に結びつくのかもしれないです。 ・包括からの相談も、地域の課題・困り事の一つである。相談から利用に至るまでを会議で報告し検討してみてもどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で、困難事例等相談過程から委員の皆様と検討、報告していく機会を設ける。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる防災、災害訓練を計画し会議で報告する。（会議の日程に併せて計画するなどして訓練の様子を知って頂く。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害を想定した訓練も計画し実施する事が出来た。会議でも訓練の様子を報告しているが、委員の皆様には訓練の様子を見て頂くには至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練のやり方は色々と工夫した方がよい。身近な設定で訓練を積み重ねていく事も大事だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練の内容をより具体化し、各職員があらゆる想定に対し行動出来る様に計画する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 26 日 (18 : 30 ~20 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	10 人	3 人	0 人	13 人

前回の改善計画

- ・チームとしての動きを活性化させていきたい。月に 1 度はミーティングを行い、チームとしてまとめた事を伝達して全員が共有していく体制を作る。
- ・介護連絡表 (基本情報) を適宜見直しする。(新しい情報や、日々の変化等)

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・チーム活動の活性化を目標にしていたが、話し合いの時間を確保することが出来ずまだまだ不十分である。チーム内でまとめた内容を伝達していく体制作りに至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1 人	6 人	6 人	0 人	13 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2 人	10 人	1 人	0 人	13 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3 人	10 人	0 人	0 人	13 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1 人	11 人	1 人	0 人	13 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ご本人が慣れていない時期には、訪問を積極的に活用し信頼関係を構築することに努めている。徐々に関係性が深まってきて、必要に応じた通いや泊まり利用の提供に繋がっている。ご本人、ご家族との会話の中から、思いや考えを掬い上げる様に努めている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・会話の中から聞き出した内容全てを記録できていない為、情報共有が不十分になってしまっている。また、チームの強化を目標にしていたが、話し合いの時間を十分に確保することが出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・記録の書き方の統一を図る。(何を記録として残すのか、日々の何気ない会話等掬い上げる。)
- ・記録について検討し振り返る。(月 1 回の会議)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 26 日 (18 : 30 ~ 20 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	4 人	9 人	人	13 人

前回の改善計画
・毎月チームで話し合う時間を作り、その内容を他の職員へ伝達する事で統一した関わりを目指す。 (月に1回以上のチーム会議) ・朝礼時に当日の課題 (目指すこと・すべきこと等)を確認して、職員間でその課題に取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・チーム会議の時間が不十分であり、情報の共有や振り返りに至っていない。チーム活動が不十分なので、他職員 (チーム) への情報の伝達という体制作りが出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1 人	6 人	6 人	0 人	13 人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1 人	6 人	6 人	0 人	13 人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1 人	3 人	9 人	0 人	13 人
④ 実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1 人	4 人	8 人	0 人	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご本人の生活暦や会話の中から「～したい」を掬い上げ、実践することが出来ている。今まで培ってきた経験を活かせる環境を提供し、ご本人のやりがいに繋がるように支援することが出来ている。日々の関わりの中の、何気ない会話の中からヒントを見出すことが出来る様に意識している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ご利用者全員の目標の把握が不十分である。月に1度のチーム会議の開催に至っていないことで、次の対応に活かす事が出来ていない。ご本人がどのような生活をしたいのかという目標の共有が出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・記録の書き方の統一を図る。 ・月1回の会議ではチームで話し合う時間を作る。 ・ご本人の「～したい」等、即時的プランを実行し振り返る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 26 日 (18 : 30 ~20 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	6 人	7 人	0 人	13 人

前回の改善計画	・ミーティングで「私の暮らしまとめシート」を振り返り職員間で情報を共有する。共通の目標、視点を持つ事で支援に活かしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・日々の会話からたくさんの情報を得ていても、「私の暮らしまとめシート」への記入が少なく活かす事が出来ていない。共通の目標や視点を持つ上でもシートの活用は不可欠である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0 人	3 人	4 人	6 人	13 人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7 人	6 人	0 人	0 人	13 人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1 人	5 人	5 人	2 人	13 人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6 人	5 人	2 人	0 人	13 人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3 人	8 人	2 人	0 人	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・体調面、精神面ともに変化に気付いた時は職員間で情報を共有することが出来ている。ご家族からも情報の収集を行い、日常生活の些細な変化に気付くことが出来る様に努めている。寄り添って話しを伺い、言葉を掬い上げ支援に繋げている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・訪問時、送迎時の様子を伝え共有することが出来ていても、日中の様子を話し合う機会が少ない。ご利用者との会話で得られた情報の共有が不十分である。その為、ご本人の生活暦や生活環境の情報があっても見落とされている。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ・私の暮らしまとめシートへの記入を充実させていく。 (ご本人が大切にしてきた事、こだわってきた事の把握)
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 26 日 (18 : 30 ~ 20 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	3 人	9 人	1 人	13 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・「関係図」を作成するには、本人様以外にもご家族や地域の方から情報収集が不可欠である。一つでも多くの関係性を見出す為に、ご利用者の地域に出向くよう努める。 ・チームごとに対象者を決めて「関係図」を最大限掘り下げる。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集について、ご本人以外からは主にご家族からの情報提供が多く、ご近所との関わりに立ち入る場面が少ない時、情報の掘り下げ方に課題がある。ご利用者の地域に出向くきっかけに考えていたが不十分である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2 人	6 人	3 人	2 人	13 人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0 人	8 人	5 人	0 人	13 人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0 人	4 人	7 人	2 人	13 人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0 人	5 人	5 人	3 人	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・今までの関係性が途切れないように、地域活動を支援することが出来ている。また、培ってきた経験を活かせるように外部と調整し、支援に繋げる事が出来ている。可能な限りご家族にも関わって頂くように働きかけている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・特定の方以外は民生委員と関わる機会がない。また、ご利用者ごとの地域へのアプローチには至っていない。訪問件数は多いが、地域を巻き込んだ支援は不十分である。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人それぞれの地域に出向く。(それぞれの地域を知る) 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 26 日 (18 : 30 ~20 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	8 人	5 人	人	13 人

前回の改善計画	・地域資源の把握が不十分であり、支援に活かしていく事至っていない。地域資源を把握していく為にも、事業所での活動に留まらず積極的に地域に出向く活動を取り入れていく。(公民館活動等)
前回の改善計画に対する取組み結果	・ご利用者それぞれの地域に出向く事が不十分であった。ただし、ご利用者によっては培ってきた経験を活かし、積極的な公民館活動など地域との繋がりを持つ事も出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0 人	6 人	5 人	2 人	13 人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7 人	6 人	0 人	0 人	13 人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	6 人	7 人	0 人	0 人	13 人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4 人	8 人	1 人	0 人	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご本人、ご家族の体調や精神的な変化に応じて、柔軟に「通い」「泊まり」「訪問」を組み合わせ支援することが出来ている。その時々で、訪問回数を増やし、送迎の時間を変更するなど対応出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ご利用者それぞれの地域に出向く機会が少なく、地域資源の把握が出来ていない。関わりの中で感じた変化があっても記録に残しきれていない為、情報の共有が不十分である。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・記録の書き方の統一を図る。 ・即時的に行う内容をミーティングで共有する。必ず記録し、振り返る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 26 日 (18 : 30 ~20 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	3 人	9 人	1 人	13 人

前回の改善計画
・顔の見える関係作りを目標にして定期的 (月に 1 回) に公民館を訪問し交流を深めていく。行事を企画した際は案内を配布し、地域行事の情報収集も行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
・毎月 1 回、ご利用者と一緒に公民館に外出する事が出来ている。行事を計画した際は、近隣に案内を配布しているが、公民館単位での配布に至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	4 人	9 人	0 人	0 人	13 人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3 人	10 人	0 人	0 人	13 人
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0 人	0 人	11 人	2 人	13 人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0 人	0 人	3 人	10 人	13 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・包括支援センター内で、月 1 回開催される認知症予防カフェに参画し、ご利用者と一緒に参加する事が出来ている。年間計画を作成する時点から会議に出席し、事業所として年 2 回、カフェを担当し地域住民と関わる機会を作っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・周囲に民家が少なく、子供や高齢者が訪ねて来る機会が少ない。行事案内を配布し周知に努めているが、参加者は限定的である。地域に向けて定期的な行事開催に至っていないため、訪れにくい事が考えられる。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
・認知症予防カフェへの参画を継続し、参加者との交流を深める。担当職員を中心に、職員全体で考える。(担当月の企画は、参加者から案を募り実践していく。)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 26 日 (18 : 30 ~20 : 30)

7. 運営

メンバー 13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	10 人	3 人	0 人	13 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の方が少なく立地的にも地域に対しての意識が少ない。小学校区の地域を意識して、積極的に交流を図っていく。 ・職員同士が意見を出しやすい環境づくりはもちろんだが、ミーティングを活用してチームケアの充実を目指し、目標の共有を図っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターが主催となり、地区の公民館内で認知症予防カフェを行っているが、今年度は企画の段階から参加をして交流の機会を作る事が出来た。年 2 回事業所が主体となり認知症予防カフェを開催し、参加された地域住民の方々に関わる事も出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0 人	6 人	5 人	2 人	13 人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0 人	13 人	0 人	0 人	13 人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0 人	12 人	1 人	0 人	13 人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0 人	5 人	7 人	1 人	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や訪問時など、ご家族から頂いたご意見があればミーティングや朝礼で話し合いを行っている。 ・ご利用者との関わりでは、会話の中から言葉を掬い上げるようにしている。 ・職員間で意見や提案をして、質の向上に努めている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校区における地域とした場合は、認知症予防カフェへの参加をきっかけに、地域住民の方々とは接する機会を頂いたが、事業所の地域においては、地域との交流が限定的でありまだまだ不十分である。なかなか意見を頂くに至っていない。日頃から関わりが少ない事が不足している。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・担当職員だけではなく、交代で認知症予防カフェに参加し、地域住民の方々とは交流を深めていく。(毎月開催されるカフェに参加する。) 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 26 日 (18 : 30 ~20 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	9 人	4 人	0 人	13 人

前回の改善計画

- ・リスクマネジメントの意識を上げていく為に事例検討会や研修会の開催を目指す。
- ・幅広く職場外の研修会に参加出来る様に計画していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・定期的にリスクマネジメント研修会を開催し、職員間で意識の共有を図る機会を作ったが、リスクに対する認識が共有出来ていない部分もあった。
- ・外部の研修会への参加はまだまだ不足していた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	5 人	5 人	2 人	1 人	13 人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0 人	5 人	7 人	1 人	13 人
③	地域連絡会に参加していますか	0 人	7 人	3 人	1 人	13 人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0 人	6 人	6 人	1 人	13 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・年間研修計画を立てて、毎月 1 回内部研修を開催している。職員が持ち回りで各テーマを担当し、振り返りやスキルアップの機会になっている。
- ・リスクマネジメント研修会を年間計画に盛り込み、ヒヤリハットや事故事例検討会を行い職員間で情報の共有に努めた。
- ・市内にある複数の事業所で定期的に集まり、研修会の企画や啓発活動を行っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・リスクマネジメント研修会を開催することは出来たが、職員間でリスクに対する認識に差があり、まだまだ共有が不足している。
- ・外部研修の年間計画が不十分であった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・リスクマネジメント研修会で、リスクに対して認識に差が出ないよう事例を通して話し合う。(ご利用者の状態、環境面等気づきがあればその都度記録しミーティングする。)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 26 日 (18 : 30 ~20 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	6 人	7 人	0 人	0 人	13 人

前回の改善計画

- ・朝礼を活用するなどして日々の声かけや関わり方を振り返る時間（話し合う時間）を作る。
- ・声かけによっては行動の抑制に繋がってしまうことを十分に理解していく。
- ・職員一人一人が「待つ」事を大切にして、本人様の行動を抑制しないように支援する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・朝礼の時間が日々の申し送りで終わることが多く、当日の目標や振り返る時間を作ることが出来ていなかった。
- ・会議でも定期的に声かけや言葉遣いを取り上げて、関わり方について振り返り、日頃の支援を考える機会を作っていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	12 人	1 人	0 人	0 人	13 人
②	虐待は行われていない	11 人	2 人	0 人	0 人	13 人
③	プライバシーが守られている	3 人	9 人	1 人	0 人	13 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	12 人	1 人	0 人	0 人	13 人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	10 人	3 人	0 人	0 人	13 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・見守りを基本として寄り添うような関わり方を心掛けている。ご本人の思いや言動を傾聴し、掬い上げて職員間で「待つ」事を大切にして支援することが出来ている。
- ・身体拘束や虐待についての研修会を開催して、日々の支援を振り返る時間を作っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・情報の伝達時、プライバシーの配慮が足りない所がある。日頃の声かけや、職員間の情報の伝達の在り方をしっかりと意識することが必要である。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・声かけや言葉遣いを取り上げて、関わり方について振り返る。(3 ヶ月に 1 回)
- ・朝礼時以外に情報の伝達が必要な時、当日のリーダーと発信者が小集団を形成し伝達していく。(ご利用者の間を話し声が飛び交わないように。)